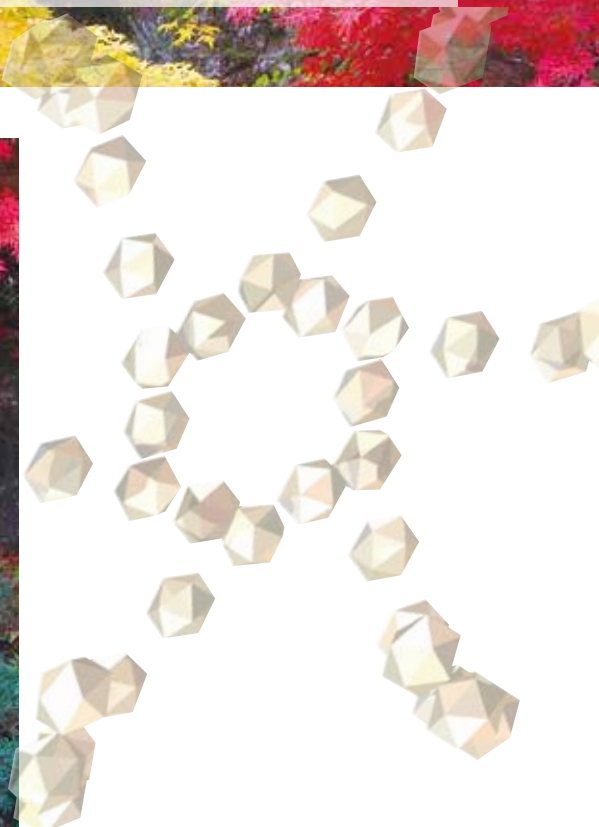




株主のみなさまへ

第151期 中間報告書

2018年4月1日から9月30日まで



エンシュウ株式会社

証券コード 6218

CONTENTS

株主のみなさまへ	2
事業の概況	3
中間連結財務諸表	5
トピックス	7
株式の状況	9
会社の概況	10

ENSHU



本社及び高塚工場



浜北工場

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

TOP MESSAGE

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当中間連結期間における経済は、国内において企業収益や設備投資が改善されるなど緩やかな回復基調が続いているものの、世界経済においては米中間税問題やNAFTA再交渉などの貿易摩擦の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは受注確保に向け中国、北米、国内を中心に積極的な活動を展開するとともに、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結期間の売上高は、工作機械関連事業部門の増加により、13,460百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

損益につきましては、工作機械関連事業部門の利益改善により、営業利益は819百万円（前年同期比84.6%増）、経常利益は653百万円（前年同期比107.1%増）、純利益は581百万円（前年同期比106.9%増）となりました。

中期経営計画の中間年にあたる2018年度は、利益を確保するとともに中期経営計画の達成を目指し全社一丸となって取り組んでおります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく無配とさせていただきます。



代表取締役社長 社長執行役員

山下晴央

2018年4月1日から2018年9月30日に至る当社グループ
第151期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。



工作機械・レーザー事業部門

日本工作機械工業会は2018年の受注見通しを前年比12.4%増の1兆8,500億円(年初予想は1兆7,000億円)に上方修正しました。1兆8,000億円台に達すれば1958年の統計開始以来初めてとなり、約1兆6,455億円だった2017年から2年連続で過去最高を記録することとなります。

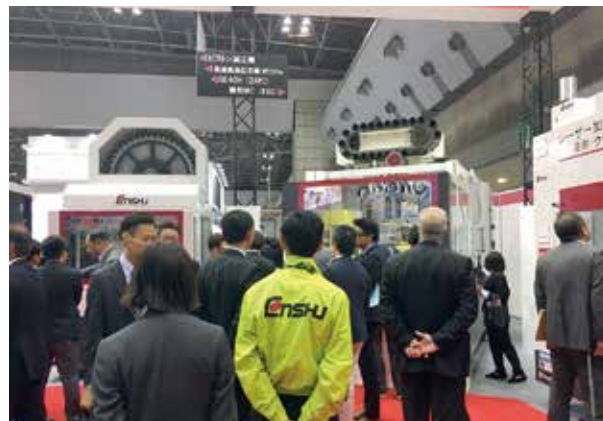
当社におきましても国内外の積極的な営業活動により、当中間連結期間に100億円を超える受注が確保でき
ており、9月末の受注残高は19,562百万円(前年同期比91.7%増)となりました。また収益面でも、一昨年から
取り組んでいる戦略・施策の効果と海外現地法人の増収により、上期売上高は8,150百万円(前年同期比
33.4%増)、営業利益は482百万円(前年同期比276.9%増)となりました。

市場の好況により主要購入部品の長納期化などの問題も抱えてはありますが、調達も含めたフロントロー
ディングを更に推し進め、納期短縮・コスト低減を図ってまいります。

そして2020年の100周年に向けて、提案力・技術力・商品力に更に磨きをかけ、市場拡大に向けてチャレン
ジしてまいります。



▲IMTS2018



▲JIMTOF2018

輸送機器事業部門

輸送機器事業部門におきましては、大型二輪車用部品の生産は減少しましたが、四輪バギー及びスノーモービル用部品が増加し、さらに営業を強化しながら新規部品の取り込みを積極的に行ってまいりました結果、増収となりました。損益面におきましても、固定費削減や生産性向上活動などの施策を継続的に推進した効果により、増益となりました。

以上の結果、輸送機器事業部門の売上高は5,274百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は311百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

今後におきましては、主力製品であります大型二輪車用の仕事量が減少し環境はさらに厳しさを増しておりますが、引き続き新規部品の取り込みと新規顧客の開拓に積極的に取り組みながら、生産性向上と品質向上、原価低減等の各種施策活動をさらに進化させて、体質強化と売上確保、利益創出を図ってまいります。

また、ベトナム工場におきましても日本側からの協力体制を基に、近隣諸国にも売り込みを積極的に行っております。そして最適生産体制を発展させ、生産性向上活動に取り組みながらグローバルにお客様にご満足いただける品質・価格・納期の提供ができるように努めてまいります。



▲ENSHU VIETNAM 工場 ピストン機械加工職場



▲ENSHU VIETNAM 工場 ピストン素形材職場

中間連結貸借対照表（要旨）（2018年9月30日現在）

（単位 百万円 百万円未満は切捨て）

項 目	金 額
●資産の部●	
流動資産	17,790
現金及び預金	1,396
受取手形及び売掛金	4,371
電子記録債権	1,183
商品及び製品	2,469
仕掛品	5,372
原材料及び貯蔵品	1,661
その他	1,364
貸倒引当金	△28
固定資産	13,860
有形固定資産	13,426
建物及び構築物	2,753
機械装置及び運搬具	2,883
土地	7,387
その他	401
無形固定資産	56
のれん	4
その他	51
投資その他の資産	377
その他	380
貸倒引当金	△2
資産合計	31,651

項 目	金 額
●負債の部●	
流動負債	12,443
支払手形及び買掛金	3,048
電子記録債務	2,201
短期借入金	4,892
未払法人税等	109
賞与引当金	307
資産除去債務	74
その他	1,810
固定負債	11,726
長期借入金	6,400
退職給付に係る負債	3,595
役員退職慰労引当金	15
資産除去債務	90
その他	1,624
負債合計	24,169
●純資産の部●	
株主資本	4,602
資本金	4,640
資本剰余金	—
利益剰余金	29
自己株式	△68
その他の包括利益累計額	2,878
その他有価証券評価差額金	2
土地再評価差額金	3,666
為替換算調整勘定	188
退職金給付に係る調整累計額	△978
純資産合計	7,481
負債純資産合計	31,651

中間連結損益計算書(要旨) 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

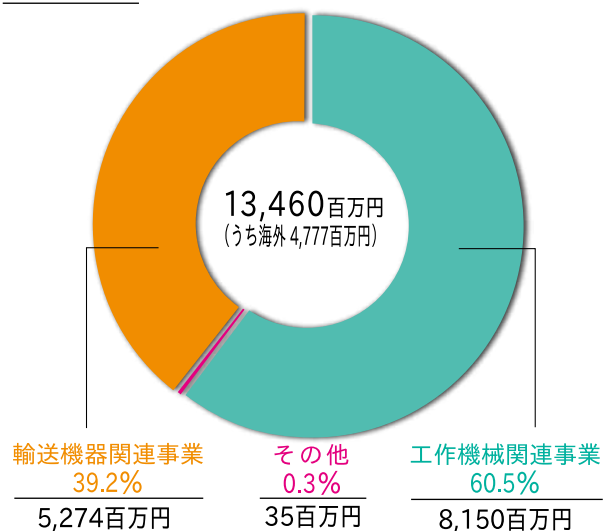
項 目	金 額
売 上 高	13,460
売 上 原 価	11,341
売 上 総 利 益	2,118
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,299
営 業 利 益	819
営 業 外 収 益	42
営 業 外 費 用	207
経 常 利 益	653
特 別 利 益	0
特 別 損 失	1
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	652
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	82
法 人 税 等 調 整 額	△10
親会社株主に帰属する中間純利益	581

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日

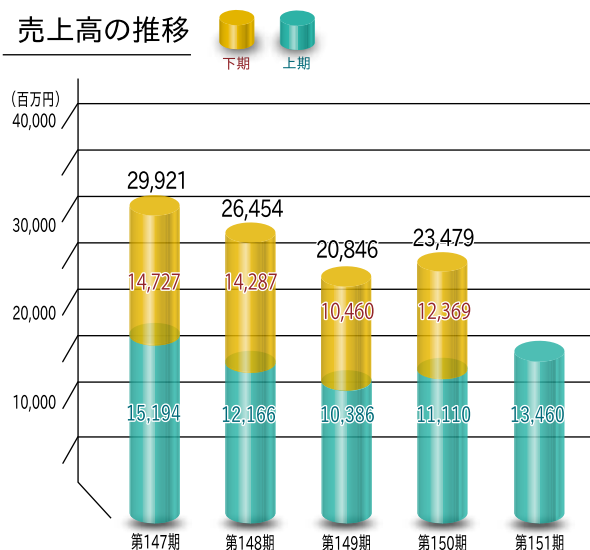
(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△796
現金及び現金同等物の期首残高	2,004
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,208

売 上 高



売上高の推移



工作機械・レーザー事業部門

■IMTS2018に出展

2018年9月10日から15日の6日間、米シカゴで開催されたIMTS2018(International Manufacturing Technology Show)に出展いたしました。当社以外に日本からも50社以上の工作機械メーカーが出展しており、展示面積13万㎡、出展社数2,500社を超える世界最大規模の展示会です。当社は、GE40H 2APCをはじめとするマシニングセンタ以外に、レーザーの展示も行いました。米中貿易摩擦の影響が懸念される中、北米市場は需要が堅調であり、多くの引合いを獲得することができました。



▲IMTS2018

■JIMTOF2018に出展



▲JIMTOF2018

2018年11月1日から6日の6日間、東京ビッグサイトで開催された「JIMTOF2018」に出展いたしました。「Power of ENSHU」をコンセプトとして、提案力・技術力・商品力を駆使した新機種の展示を行いました。工作機械・レーザー事業部門と輸送機器事業部門の協業によって生まれる「シナジー効果」(相乗効果)を具現化した新商品の提案や、IoT専用の特設ブースを設置し、多くのご来場者にご好評をいただきました。今後ともお客様にご満足いただける商品を提供できるよう努めてまいります。



▲新開発のレーザー溶射機

■レーザー溶射機の開発

新開発のレーザー加工技術を応用した金属溶射機を開発し、「JIMTOF2018」に参考出展いたしました。レーザーにより、アルミ合金の表面にかけた鉄の粉を焼き固める「肉盛り」のほか、薄い金属膜を形成する溶射が可能となりました。これにより、自動車エンジンの小型軽量化、低摩擦化、燃焼性改善による熱効率の向上と、それによる地球環境負荷低減に貢献できると期待しております。

■ MEX金沢2018に出展

2018年5月17日から19日の3日間、金沢で開催された「MEX金沢2018」に出展いたしました。今年で3年連続での出展であり、今回当社は小型のマシニングセンタGE15Veとレーザーの加工サンプルを展示いたしました。どちらも多くのご来場者に興味をもっていただき、受注を獲得することもできました。北陸地域には古くから当社の工作機械を使っているユーザーも多く、今後も汎用機の拡販に努めてまいります。

輸送機器事業部門

輸送機器事業部門は、当社製マシニングセンタを柔軟に組み合わせて、お客様に満足していただける品質、価格、納期を実現するためのライン作りを行っております。

現在、工作機械・レーザー事業部門と連携して当社製マシニングセンタを活用し省スペース、省人化(自動化)を実現し、さらにIoTを導入した自動車用デフケース新ラインの立ち上げを実施しております。二輪、船外機、四輪関係と幅広く新規部品の取り込みを積極的に行っていきながら、品質向上、原価低減活動の成果を着実に積み重ねて、仕事量確保と利益創出に努めてまいります。

また、ベトナム工場におきましては、お客様から品質評価で最高ランクを継続して頂いております。新しく進めてまいりました原則活動、品質活動の結果であり、今後も活動を推進し、継続して品質確保と生産性向上に取り組んでまいります。

これからも継続してベトナム工場を活用した最適生産体制を構築しながら、国内工場の生産体制の再構築も進めてまいります。そして日本とベトナムの連携を強化し、今後さらにお客様にご満足いただける品質、価格、納期の提供ができるように努力してまいります。



▲当社製マシニングセンタによる自動化ラインにIoT技術を融合して立ち上げた自動車用デフケース新ライン



▲当社製マシニングセンタを再配置し、建機向け部品を短期間で取込みを実施したライン

STOCK REPORT 株式の状況

(2018年9月30日現在)

株式の総数・資本金 (2018年10月1日現在)

発行可能株式総数	15,000,000株
1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	6,353,454株 (自己株式 46,354株を含む)
資本金	4,640,850,000円

※2018年10月1日を効力発生日として、単元株式数変更(1,000株→100株)および株式併合(10:1)をしております。

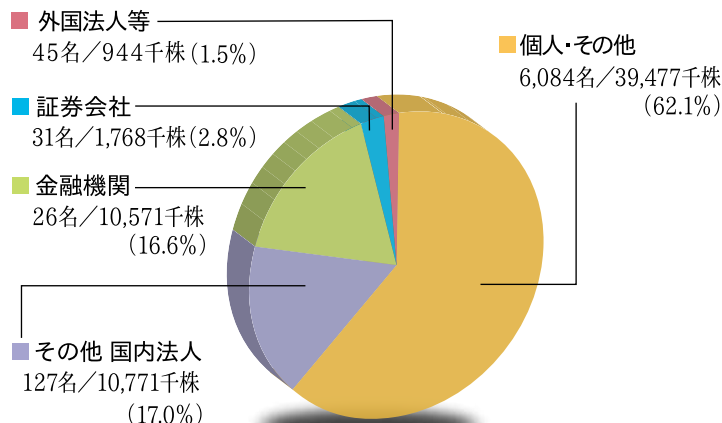
大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.23%)
エンシュウ取引先持株会	6,194千株 (9.82%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.17%)
前尾和男	1,926千株 (3.05%)
株式会社みずほ銀行	1,572千株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.24%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	988千株 (1.56%)
エンシュウ従業員持株会	968千株 (1.53%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	846千株 (1.34%)

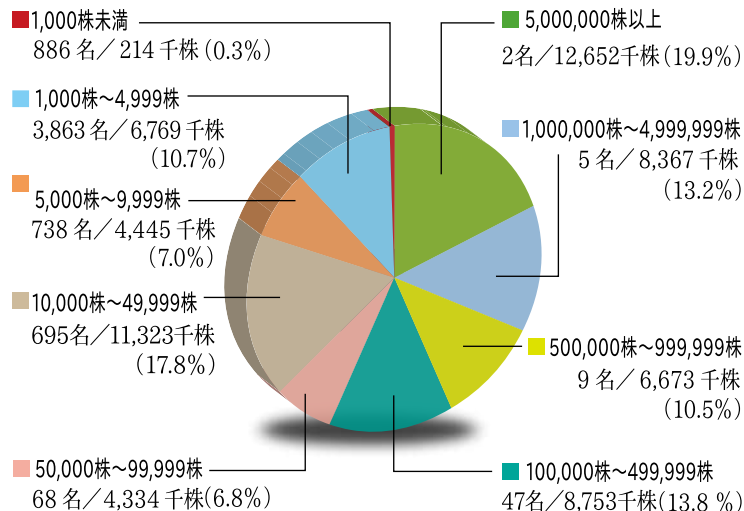
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

株主の構成

所有者別株式分布状況 合計:6,313名/63,534千株



所有株数別分布状況 合計:6,313名/63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE 会社の概況

(2018年9月30日現在)



商号	エンシュウ株式会社 (英文 ENSHU Limited)
設立	大正9年2月5日
資本金	46億4,085万円
株主数	6,313名
従業員数	1,009名 (連結)
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15 (スターハイツ)
電話03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話06-6338-2471(代)

サービスステーション / 東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ・シカゴ)
ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I	(メキシコ・ケタラロ)
ENSHU GmbH	(ドイツ・フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ・バンコク)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ・バンコク)
PT.ENSHU INDONESIA	(インドネシア・ジャカルタ)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国・青島)
ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch Office	(中国・蘇州)
ENSHU INDIA PVT Ltd.	(インド・グルガオン)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム・ハノイ)

取締役体制

代表取締役社長	山下晴央
代表取締役	勝倉宏和
社外取締役	墨岡良一
取締役 (常勤監査等委員)	中村泰之
社外取締役 (監査等委員)	石塚尚
社外取締役 (監査等委員)	森和彦

執行役員体制

(2018年10月1日現在)

社長執行役員	山下晴央
副社長執行役員 (兼 管理本部長)	勝倉宏和
常務執行役員 (工作機械・レーザー事業部長)	鈴木敦士
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部副事業部長)	富田敏弘
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部副事業部長 兼 技術部長)	鈴木利夫
上席執行役員 (輸送機器事業部長)	松永浩一
執行役員 (新規事業・IoT推進室室長)	内山浩一

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日

(期末配当)

3月31日

(中間配当)

9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主となります。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<https://www.enshu.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場 東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でも取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元株式数の変更と株式併合についてのご案内

当社は2018年10月1日をもって

- ①単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。
- ②当社の普通株式10株を1株に併合いたしました。

単元未満株式(1～99株)を 保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から99株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <https://www.enshu.co.jp>